

令和3年1月27日（水）

第1回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和3年1月27日(水) 午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 倉部 俊治 委員 長谷川浩子  
委員 足立 俊弘 委員 蒲田 知子  
委員 村松 弘康
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員  
教育総務部長 丸 智彦 生涯学習部長兼鳥の博物館長 木下登志子  
生涯学習部次長兼公民館長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長 菊地 統  
総務課長 森田 康宏 学校教育課長 鈴木与志実  
生涯学習部参事兼文化・スポーツ課長 小林由紀夫  
指導課長兼小中一貫推進室長兼少年センター長 戸塚美由紀  
図書館長 宇賀神 修 教育研究所長 遠藤 美香
6. 欠席事務局職員 な し

午後 2 時 0 0 分開会

○倉部教育長 ただいまから令和 3 年第 1 回定例教育委員会を開会いたします。

---

会議録署名委員指名

○倉部教育長 日程第 1、我孫子市教育委員会会議規則第 3 1 条の規定により、会議録署名委員を指名します。村松委員にお願いします。

---

議案第 1 号

○倉部教育長 日程第 2、議案の審査を行います。

議案第 1 号、我孫子市教育支援委員会条例の一部を改正する条例の制定について、事務局の説明をお願いします。

○遠藤教育研究所長 議案第 1 号です。我孫子市教育支援委員会の組織見直しに伴い、我孫子市教育支援委員会委員の構成及び人数を改正するとともに条文を整備するため提案するものです。

教育支援委員会は、支援を要する子どもが就学するにあたって、適切な就学先や支援について審議する場です。

委員種別の医師代表として、我孫子医師会に小児科医を委員として選出させていただくよう教育研究所から依頼しています。我孫子市は小児科医が減少していて、我孫子医師会から 3 名の選出が厳しいという旨を伝えられました。委嘱する医師代表の人数を 3 名から減らすこと、医師代表の人数を 3 人に固定しないこととし、ほかの委員種別と人数についても精査し、見直しました。

また、人数固定をすると委嘱できない種別が出てくる可能性があり、組織編成が困難になるため委員種別ごとの人数を削減しました。

○倉部教育長 以上で説明が終わりました。これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

○足立委員 委員の種別を見直されたということですが、見直した内容のポイントを教えてください。

○遠藤教育研究所長 我孫子市教育支援委員会条例第3条第2項第2号について、改正前は「小、中学校長代表2人」、「保健主事代表1人」、「特別支援学級担任代表2人」でしたが、改正後は、「小学校及び中学校の教育職員」にまとめたところがポイントです。教育支援委員会は、支援を要する子どもが就学するにあたって、適切な就学先や支援について審議する場ですので、それができる方を委員として委嘱させていただくため、「小学校及び中学校の教育職員」としてまとめました。人数を固定せず、こちらからお願いをしていくという形を取ることがポイントになると思います。以上です。

○足立委員 よく分かりました。ありがとうございました。

○倉部教育長 ほかによろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○倉部教育長 これより採決いたします。

議案第1号、我孫子市教育支援委員会条例の一部を改正する条例の制定について、原案に賛成の委員は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○倉部教育長 挙手全員と認めます。よって議案第1号は可決されました。

---

## 諸 報 告

○倉部教育長 日程第3、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明を求めたいと思います。

まず初めに、成人式について、菊地生涯学習課長お願いします。

○菊地生涯学習課長 令和3年成人式についてご報告します。

まず、令和3年成人式について、教育委員の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

県内で成人式を実施した市町村は、我孫子市、大多喜町、御宿町、神崎町、白子町、睦沢町、長生村の7市町村でした。

我孫子市では、当日、会場の密集を防ぐため、通常の2部制から4部制にし、ふれあいホール定員の半数以内の参加者数としました。また、記念品の自宅配布や入場者と退場者の動線を分けるなど、受付や通路で混雑しないよう配慮しました。さらに、杉村楚人冠記念館と旧井上邸に記念撮影スポットを設け、1月末までの期間、我孫子市の新成人は、杉村楚人冠記念館に無料で入場できるようにしました。

そのほかにも、式典時間の短縮、検温の実施、手指の消毒、マスクの着用、COCOAアプリの推奨、式典の録画配信、さらに、当日は、市長や実行委員のメンバーから式典後の会食などを控えるように注意喚起をしました。できる限りの感染対策を講じたうえで、成人式を実施しました。

参加者数は、12月14日現在の成人数1,263人に対し、824名です。65%強の参加率となりました。事前の案内通知やホームページで、コロナウイルス感染症の拡大につながらないように十分に配慮した式典であることを周知しましたが、例年に比べて少ない参加率となりました。参加した成人の方々からも「成人式を開催してくれてありがとうございます」という感謝の声が多く、SNS、インスタグラム、ツイッターなど、市への感謝の言葉が多く掲載されていました。

現時点で、式典及び式典後の会食などに関連した感染についての報告はなく、無事終了しました。ありがとうございました。

○倉部教育長 成人式についての報告が終わりました。このことについて何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。——特によろしいですか。

成人式は、整然と非常に落ち着いた形で行われました。一応マスコミの方も来ていただいたのですが、好意的な記事が多かったと思います。担当の皆さん、本当にご苦労さまでした。ありがとうございます。

では、続きまして2点目、ヤング手賀沼の分校の設置について、遠藤研究所長、お願いします。

○遠藤教育研究所長 ヤング手賀沼の西側、我孫子地区に1か所、けやきプラザ11階「うなきちさん家」で、ヤング手賀沼の分校を4月から設置することが決定しました。月曜日、火曜日、水曜日、金曜日、まずは週4日使えるようになっています。時間は、9時から3時半までです。ヤング手賀沼がない日は、学習支援活動や結婚相談所、子ども食堂などが使用しています。

これから本校を含めてどのように実施していくか、職員共々考えながら進めていきたいと思います。我孫子市の21校目の学校ではなく、20校目の学校の分校ということで、我孫子地区のヤング手賀沼は、勉強中心に活動し、1週間に1回木曜日に本校と分校の生徒を合わせて、行事や体育館での活動を一緒に行うことなどを考えています。

けやきプラザ11階の1番の魅力は、子ども食堂が作っている調理室を使用できることだと思います。5～6名のグループに分けて、調理活動ができるよう、子どもたちをしっかりと見守りながら検討していきたいと思います。

また、打合せのときに市民活動支援センターや社会福祉協議会の方とお話したのですが、けやきプラザの良いところは、いろいろな人に見てもらえる、声をかけてもらえるといったところも魅力だと思うので、皆様に気兼ねせずに、ヤング手賀沼の子どもたちに声をかけてくださいとお伝えしました。ただ、4月から実施するので、その前にリハーサルを1回、内覧会のような形で、親御

さんとお子さんで行って、それから実施したいと思っています。以上です。

○倉部教育長 ありがとうございます。ただいまの件について何かご意見、ご質問等がありますでしょうか。

○蒲田委員 今、ヤング手賀沼は3人の指導員の方がいると思いますが、分校ができるということになると増えるのでしょうか。

○遠藤教育研究所長 はい。その予定で、人数を増やそうと思っています。

○蒲田委員 分かりました。木曜日に関しては、ヤング手賀沼の本校と分校が合同で活動することになるのでしょうか。

○遠藤教育研究所長 はい。木曜日は、本校と分校がまとまって活動しようと考えています。体育館での活動が主な活動になると思います。

○倉部教育長 よろしいでしょうか。

○蒲田委員 はい。ありがとうございます。

○倉部教育長 ほかにいかがでしょうか。

ヤング手賀沼の分校の設置について、非常に注目されていると思いますし、ようやくここまで来たかという思いです。ただ、まだ試行の段階ですので、今後どのように運営していくかというところが、一番肝心なことだと思います。ぜひうまくいくように、皆様、応援していただければ幸いですので、よろしく願いいたします。

それでは3点目、鳥の博物館の30周年について、友の会から記念品贈呈について、木下鳥の博物館長、お願いします。

○木下鳥の博物館長 鳥の博物館が30周年を迎えました。これまでも節目の時に、鳥の博物館友の会の方々にはご支援をいただいておりますが、今回は、電動簡易リフト荷揚げ機を頂きました。先週20日に、友の会の会長より教育長へ贈呈式が行われました。この荷揚げ機というのは学芸員の希望でもありまして、現在、所蔵しているジオラマを収蔵するところがもういっぱい、3階

展示室のガラスケースの上まで人力ではしごを使い、持ち上げて収納していました。とても重く、危なかったのですが、荷揚げ機を使えば、電動でうえに上げて格納できるので、とても助かっています。

今後も友の会や各団体の皆様と連携しながら、より良い博物館として活動を続けていきたいと思えます。

○倉部教育長 ありがとうございます。ただいまの報告について何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。

鳥の博物館では、様々な工夫を凝らしているところが他にもありますので、ぜひそういう苦労しているところも見ていただきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

特にこの件についてはよろしいですか。——はい。

それでは、これより事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手をお願いします。

○村松委員 4 ページ指導課の街頭指導ですが、指導内容に高校生男子6人、高校生女子4人とあります。私も以前、鈴木学校教育課長とともに青少年相談員として街頭パトロールを行ってきましたが、高校生に対しては声かけや指導、接し方が非常に難しく、特に法的に違反している場合以外に、高校生に対してどのような指導を心がけているかお聞きしたいです。

○戸塚指導課長 場所等にもよると思えますが、例えば、薄暗い公園でいつまでもしゃべっているような状況であれば、「外が暗くなってきたから気をつけて帰ってね」というような声かけをしています。また、ショッピングセンターのフードコートで学習している高校生にもよく声をかけることがあります。一応フードコートには、勉強のために使わないようにという注意書きの掲示はされていますが、試験前になるとそこで食事しながら、勉強するという姿がたびたび見られます。実際にそのお店で物を買っていたりすると、お店側も注意す



ることが難しいので、私たちがパトロールするときは、「ここは勉強するところじゃないからね。」という声かけをしています。少年指導員の中には、高校の先生方もいますので、一緒に指導してもらうこともあります。また、市内中学校の卒業生であれば、中学校の先生たちがその子を知っていて、どこの高校に通っているか分かるので、市内の高校に通う場合は、指導した内容を学校へ報告しています。報告をすると、高校からもそういう場所に集まって勉強しないように生徒たちに指導してくれます。学校や先生と連携を取りながらパトロールを実施している状況です。

○倉部教育長 よろしいでしょうか。

○村松委員 この件に関しまして、担当は違いますが、鈴木学校教育課長にも、共にパトロールをしてきましたので、ご意見がもしあれば、お聞きしたいと思います。お願いします。

○倉部教育長 補足説明ということで、学校教育課長、お願いします。

○鈴木学校教育課長 例えば、無灯火の自転車に対して「電気をつけていこうね」など、明らかに声かけができる場合はいいのですが、高校生に対する対応はなかなか難しい場合もあると思います。その時々の実態に合わせてやっていくことだが必要だと思います。

○倉部教育長 よろしいでしょうか。

ほかに事務報告について、いかがでしょうか。

○蒲田委員 5ページ、ヤング手賀沼について、終わりの会には子どもたちが10人参加していて、始めの会にはお子さんが9人、保護者が1名参加となっています。この1名は、終わりの会には来ていたけど、始めの会には来られなかった子の保護者ということでしょうか。

○遠藤教育研究所長 ヤング手賀沼に参加している子の保護者なので、保護者だけの単独の数字ではないです。終わりの会のときは、たまたまその子も学校

に行っていて、保護者も来ていなかった。始めの会のときは、その子がヤング手賀沼に来る日だったので、保護者の方も一緒に参加したという状況です。

○倉部教育長 よろしいでしょうか。

○蒲田委員 理解できました。ありがとうございます。

○倉部教育長 ほかにいかがでしょうか。

○蒲田委員 山下清展の市民スタッフとして、ご夫婦でお手伝いをしてくださった方と話す機会がありました。ご主人と奥様が午前中と午後にわかれて勤務することが多かったのですが、たまたまお二人そろって土日に勤務されていた時も「アビスタは近いから大丈夫よ」と、大変協力的な対応でした。その方は、JBF（ジャパンボードフェスティバル）の時もやはりご夫婦そろって、別々な場所で市民スタッフとしてご協力いただいています。そういう方々がいらっしゃるからこそ、我孫子市のイベント活動は豊かになりますし、ご来場した方にも楽しんでいただけたと思います。市民の方々に支えられているということを実感しました。以上です。

○菊地生涯学習課長 今回市民スタッフは、全部で33～34名の方にご協力いただきました。本当に大変助かりました。当初は、市民プラザで山下清展を実施する予定でしたが、アビスタに会場を変更したことによって、展示も1カ所ではなく、学習室ごとに分かれました。セキュリティーや保険の関係もあり、各学習室に1名ずつ市民スタッフを置いてほしいと業者からの要望があり、急遽、追加募集や既に登録いただいている方にお声がけをしました。蒲田教育委員にもご協力いただきました。多くの方々に私たちの業務が支えられていることを実感しました。市民スタッフの方がいてのこそこのイベントだったと思います。本当に感謝の言葉しかありません。いろいろとご協力いただきましたこと、心から感謝申し上げます。以上です。

○倉部教育長 よろしいでしょうか。

私からも感想を述べさせていただきますと、当初、スタッフが足りなかったもので、担当としては、他部署の市職員による応援を検討していました。ところが、いざ応援を頼もうというその前に、市民スタッフの皆さんのご厚意によって業務の割り当てがすべて埋まりました。逆に言いますと、我孫子市で大きなイベント事業を行うことが、市民スタッフの皆さんにとっても喜ばしいことなのだと、お手伝いいただいたスタッフの方々と話していて感じます。そういう事業を実施できる我孫子市であることに誇りを感じますし、それに心から賛同して一緒にやってくれる方が市民の中にいることにも心から感謝したいと思います。引き続き、担当としても誇れる事業を実施していただきたいと思えます。よろしくをお願いします。

ほかに事務事業についてはいかがでしょうか。——よろしいですか。

それでは、事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。

○長谷川委員 13ページ、文化・スポーツ課の2番、めるへん文庫について、今回、高校生の部の応募が多いと感じたのですが、応募数や傾向について教えてください。

○小林文化・スポーツ課長 今年、めるへん文庫の応募は、全体で125作品ありました。小学生が19作品、中学生が94作品、高校生が12作品なので、割合からいくと、高校生については、優秀な作品が多かったと思います。

○長谷川委員 ありがとうございます。高校生の優秀な作品が多かったということなので、本になることを楽しみにしています。ありがとうございます。

○倉部教育長 私も読みましたが、今回残念なのは、小学生の応募が少なかったことです。中学生はやはり面白い作品が多いです。これは例年と変わりません。先ほどご質問のあった高校生は、例年以上に良い作品がそろっていると感じました。中学生だった子どもたちが、高校生になって、また投稿してくれて、そ

の子どもたちの数が増えているという傾向もあると思います。子どもたちには、毎年、我孫子市のめるへん文庫に投稿することを続けてもらって、その延長として、将来にわたり、作家活動を継続してもらいたいと思っています。楽しみな傾向だと思っています。ぜひ、今後につながっていくことを期待しています。

ほかに事務進行予定について、いかがでしょうか。——よろしいですか。

ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑またはご意見があれば、お願いいたします。  
——特によろしいでしょうか。

ないものと認めます。

以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

---

○倉部教育長 以上で令和3年第1回定例教育委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

午後2時29分閉会